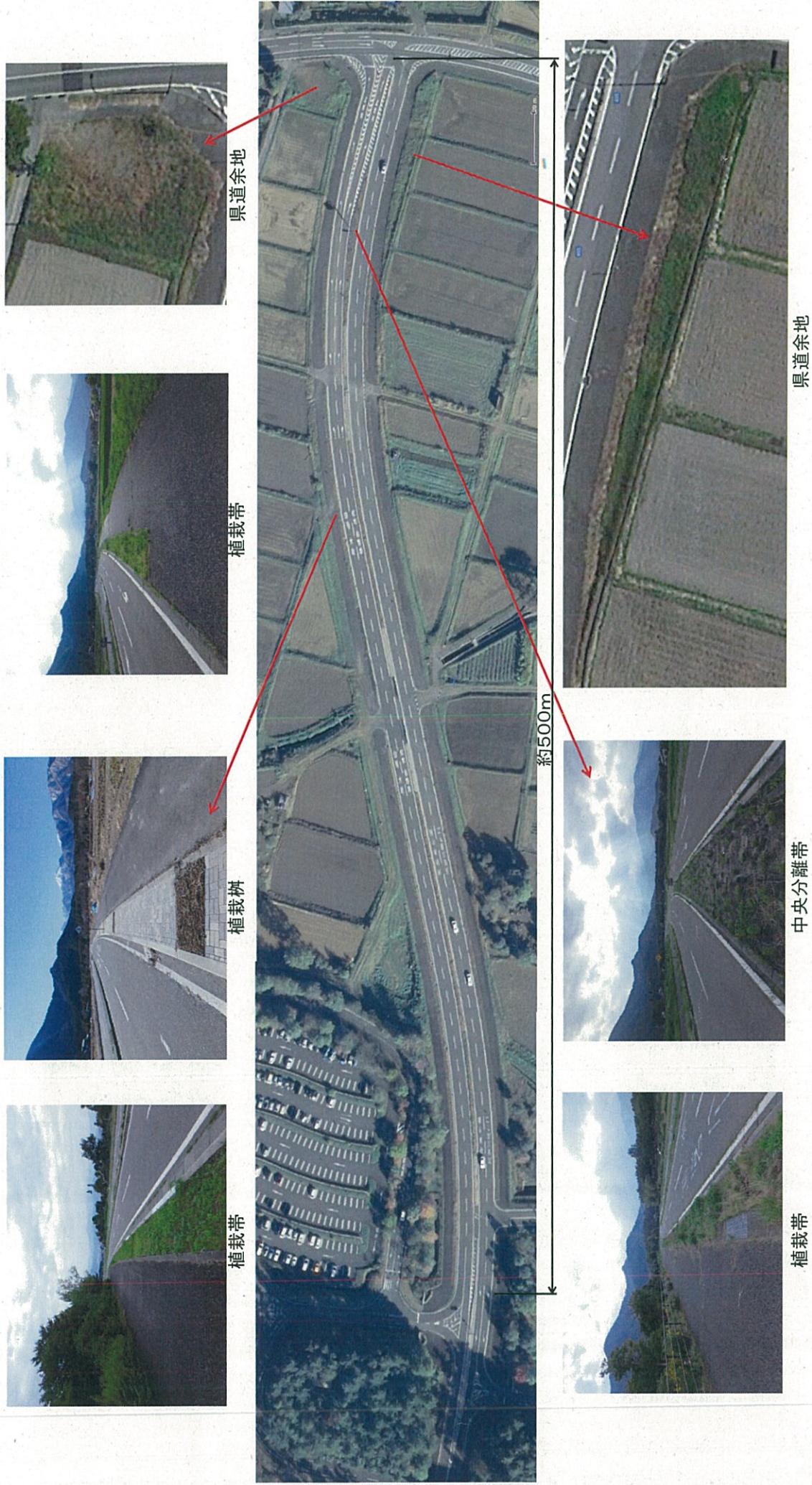


(一) 豊科大天井岳線 公園入口付近



- ・面側歩道内の植栽帯については、インターロッキングブロックを敷設して樹形式にする。(一部施工済み)
- ・中央分離帯の植栽帯については、インターロッキングブロックを敷設する。

建設系学科高校生の就労促進事業の取組み(南安曇農業高校)

・県道敷地を使用しての、地形測量実習。

・県道余地を使用しての、施工実習を検討(ポケットパーク、案内看板設置、植栽等)。

長野県烏川渓谷緑地

概要緒元

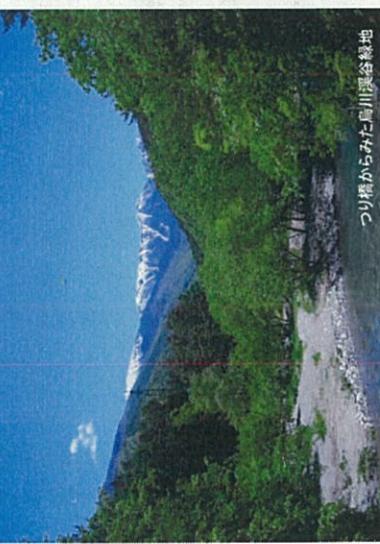
- 名称：烏川渓谷緑地
- 開設面積：49.6ha
- 開園年月日：平成14年4月1日
- 開園年月日：4月1日
- 開園時間：年未年始を除く通年（管理事務所8:30～17:15）
- 入場料：無料

烏川渓谷緑地は都市公園ではありませんが、街中にある都市公園とは異なり、極力自然のままの環境を保っている緑地で、水辺エリアと森林エリアの2つのエリアに分かれています。水辺エリアは、烏川の流れに沿って東西に広がる河畔と林間にまたがるエリアで、瀬音を聞きながら散策や水遊び、自然観察などで楽しむことができます。森林エリアは、行政と市民が話し合しながら保全しています。



森林エリア

全体図



つり橋からみた烏川渓谷緑地



水辺エリア



4月下旬には残雪も姿を消し、森林エリアでは苔の道の上を歩いたり、一面に開いたカタクリを楽しむことができます。また、水辺エリアでは日本三鳴鳥であるオオルリをはじめとした野鳥たちが姿を現します。そして5月からは各種の木々が芽吹き始め、新緑の中で、川の瀬音と野鳥のさえずりのハーモニーを楽しむことができます。このように、信州フェア期間中は、様々な生物の共存と自然そのものを感じることができます。

資料提供：長野県安曇野建設事務所、烏川渓谷緑地環境管理事務所